

「笑顔になれる認知症介護のお話と歌を」



ザザ アベック カフェ マヌーシュ
Zaza avec Café Manouche

今回、お話をしてくれるのはなんとシャンソン歌手でもある ZaZa さん。

ご自身の両親の介護経験と歌声を通して、認知症に関わるすべての人々が想いを共有し、認知症の方が、住み慣れた地域で生活をする事の出来る街づくりの一端となる事を願って講演活動をしています。

後半には、ZaZa さんの素敵なおばあちゃんの歌を披露していただきます。笑顔になれるコツを体験しよう！

2013年10月5日(土) 14:30 開演 (受付: 14:00 より)

ルミエール レセプションホールにて

参加費: 非会員 500円

第1部 おはなし (講師: ZaZa)

ザザ アベック カフェ マヌーシュ

第2部 うた (アーティスト: Zaza avec Café Manouche)



ZaZa は介護を自宅でしていました。徘徊の時は父や息子と探し回り、明け方見つかれば家に帰ることもしばしばありました。お母さんは、普段は脚が痛い痛いといって、歩くのも大変でしたが、徘徊になると、子どもに返り、本当に足取り軽く歩き、前に住んでいた家まで帰り、「お母さん開けて！」と扉を叩いたりもしました。でもある暖かい春の日、寝たきりのお母さんの頭に桜の花びらが付いてました。おかしいなと思ってお父さんに話を聞くと、お母さんに桜を見せてあげようと、車に乗せてお母さんと花見に行ってきたのです。ZaZa は「危ないから一人で連れて行くのはやめて！」とお父さんを怒りましたが、本当はそのお父さんの優しさに感動をしてました。そんな、エピソードが歌詞になりました。メロディーはフィンランドの「イエヴァンポルカ」です。

つらい介護も、ZaZa さんにとってはお母さんとの思い出で作りです。楽しく唄いながらも、お母さんとお父さんに感謝の気持ちで一杯です。今介護でつらい人や、昔の介護の辛さも今は思い出となってる人への応援歌のつもりで、ZaZa は唄ってます。

大阪社会福祉士会 北河内支部研修会

Collaboration !

- ☆門真市介護支援専門員協会
- ☆四条畷市介護支援専門員協会
- ☆守口市介護支援専門員協会

申 込 書

氏名: _____ 所属(勤務先): _____

支部名: _____ 支部 *定員を超えた場合のみ、下記の連絡先へご連絡いたします。

連絡希望方法: TEL FAX MAIL

連絡先: [TEL/FAX] _____ (自宅・職場)

[MAIL] _____ (自宅・職場)

*メールがある方はメールにてご連絡を取らせていただければ幸いです。(はっきりと楷書にてご記入ください)

お誘い合わせの上、みなさまどうぞ。どなたでも大歓迎です！

◆ 懇親会(研修会終了後に予定)

懇親会へ (参加・不参加) します。

FAX:072-825-2124まで

ザザ アベック カフェ マヌーシュ

Zaza avec Café Manouche

【ZaZa】 <http://atelier-paris.jp> 幼い頃から地元のイベントや祭りや歌い、その実力は天才少女と呼ばれレコード会社からも声がかかる故古賀政男氏の自宅に呼ばれ東京に来るように勧められる。1997年から1年半に渡りラジオ関西のシャンソン番組「愛のシャンソン」にレギュラー出演。同年7月NHK大阪ホールで「わたしたち大阪パリ祭」を主催。'07年8月アルバム「Chanson de Manouche」を発表。「Cafe Manouche」とのコラボで制作され、そのアルバム名通り日本で初めてのマヌーシュスウィングスタイルの仏語シャンソンアルバムとなった。このリズムに乗った楽しいアルバムは広くジャズファンや民族楽ファン、若いロックファンからも高い評価を得ている。2007年11月ニューヨークのライブハウ「BIGAPPLE(ハーレム)」出演。又、FMCoCoLoのジャズ番組「WORLD JAZZ WAREHOUSE」にもゲスト出演。最近ではフランスを始めヨーロッパ圏からも高く評価を得て、2010年1月23日、ドイツのトリコントレーベルよりジャンゴ・ラインハルト生誕100年記念として世界中のジャンゴ・ラインハルトの影響を受けたミュージシャンを集めて作られたコンピレーションCD「Djangos Spirit」にアジアを代表する歌手として選ばれ、ZaZa avec Café Manouche が世界デビュー。現在、ライブハウス、レストラン「クード・ポール(天満橋)」でレギュラーライブを主催する一方、自身はジャズライブハウスを中心にホテル、レストラン、イベントで幅広くライブ活動を行い、特に仏語のみでライブが出来る日本で数少ないシャンソン歌手として活躍中。

【CaféManouche】 <http://www.manouche.jp> 1920年代から1950年代後半まで活躍した伝説のジャズギタリスト「ジャンゴラインハルト」が確した、ジブシースウィングを基本に、ジャズ・シャンソン・ボサノヴァ・ラテン・ポピュラー・オリジナル迄、独自のアレンジで演奏する日本では数少ない、本格派ジブシースウィングバンドです。マカフェリギター2台とコントラバスとが織り成す旋律は、時には激しく、時には優しく、哀愁漂うメロディーが、各方面から絶賛されています。(主な活動)「Nouvelle Edition」CD発売、世界陸上プレイベントライブ出演、東京渋谷ビーム「J-POP Cafe・JOINLIVE」出演、NHK-TV(神戸)「KOBÉジャズライブ」出演、(株)SEGAゲームソフト『SONIC World Adventure』(PCソフト2008年発売)にて演奏・収録、大阪道頓堀商店街Webテレビテーマ曲にZaZa avec Café Manouche「2人でほんわかほ」採用され道頓堀ビジョンにて放送開始、大阪アジア映画祭に参加上映したマレーシア人映画監督リム・カーワイ作品「恋するミナミ」に音楽提供。高槻Jazz Street2013 FM-CoCoLo ステージに出演